

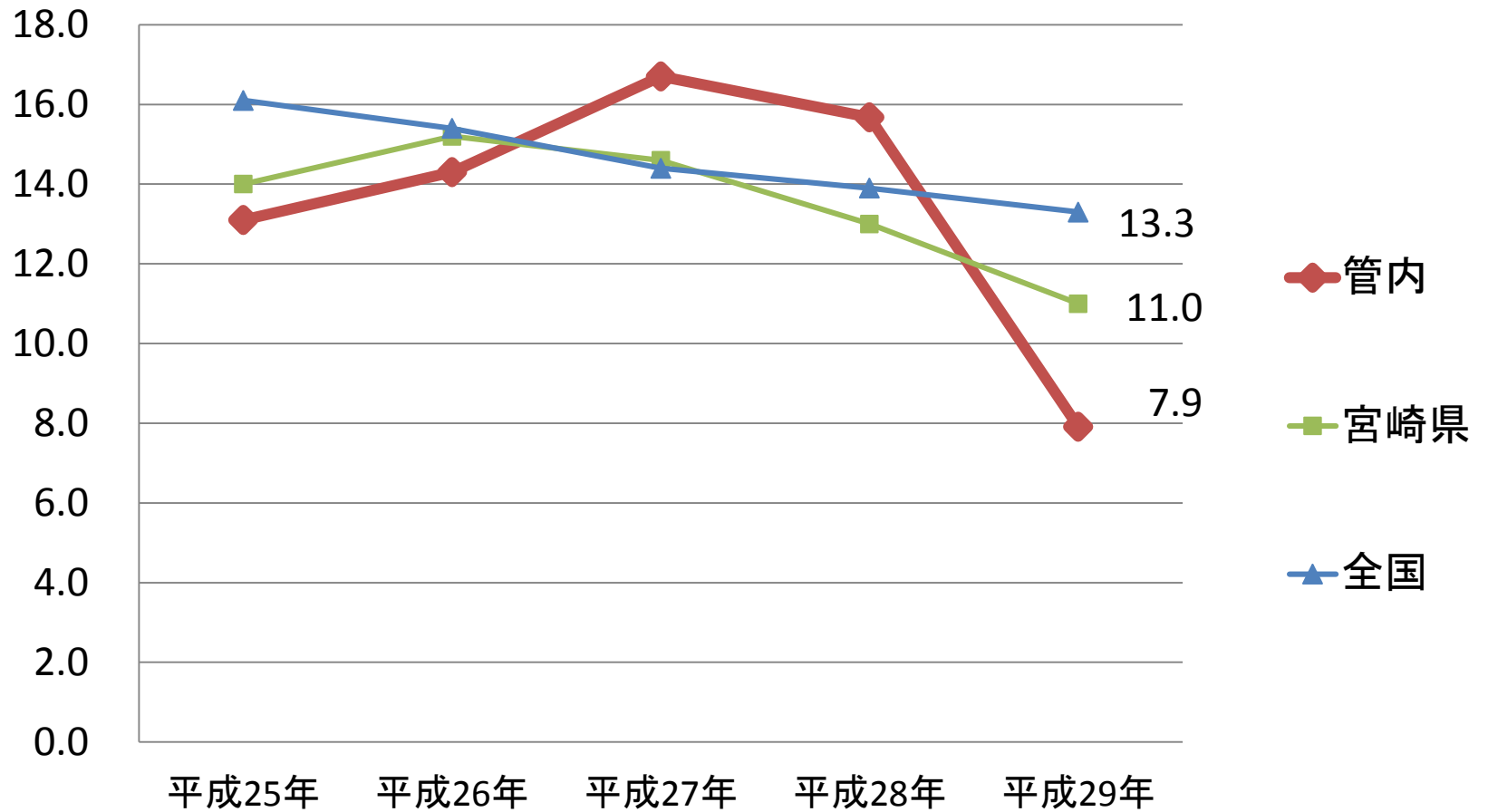
高齢者施設における 結核対策の課題に対応した 健康教育について

○山下恵奈¹⁾、田村ひろみ¹⁾、阿波野恵¹⁾、坂本三智代²⁾、高妻真子¹⁾、古家隆¹⁾

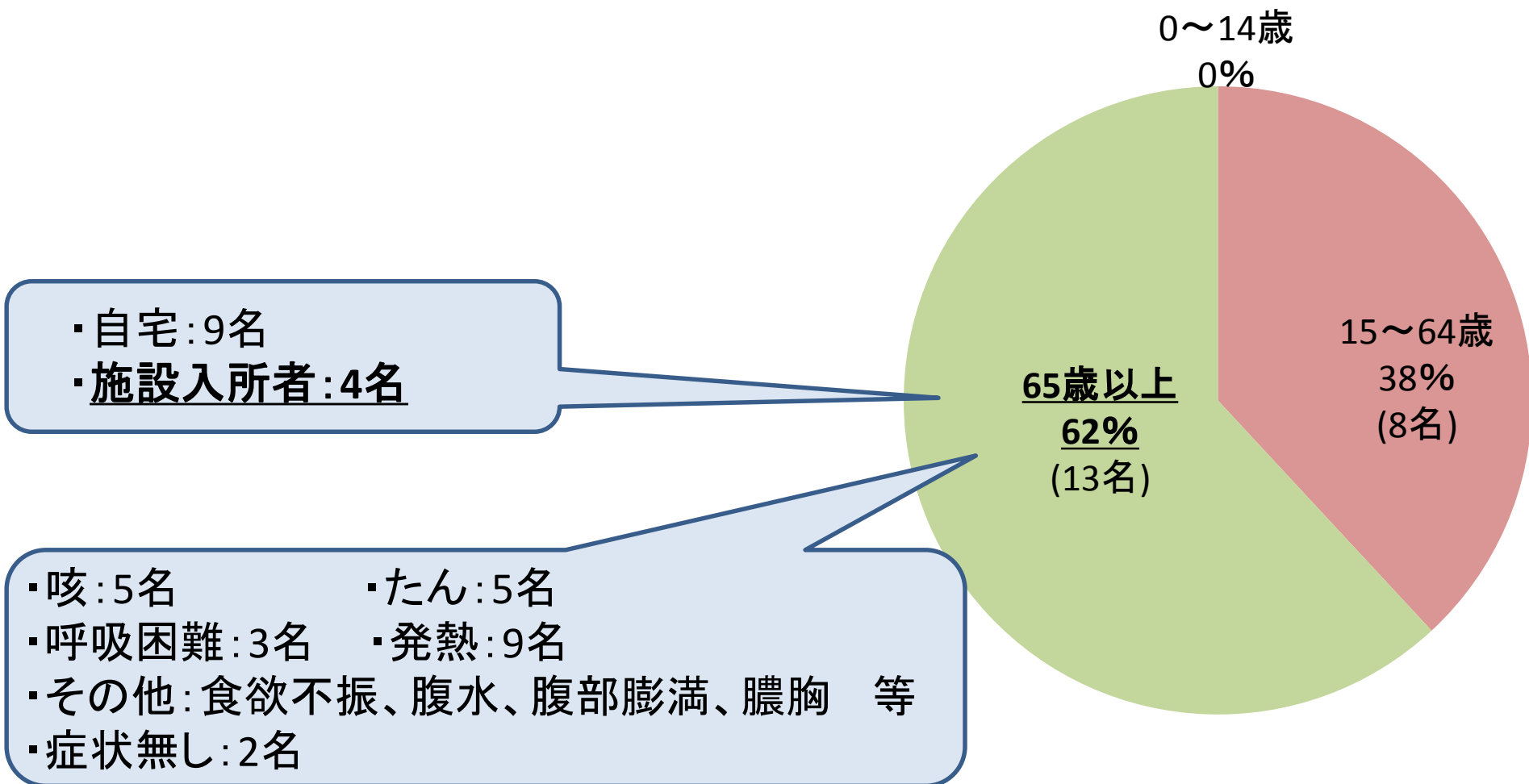
日向保健所¹⁾、健康増進課²⁾

はじめに

【結核罹患率(人口10万対)】



【結核新規登録者(潜在性結核感染症除く)21名】



(平成28年～平成29年 発生届より)

○高齢結核患者は**呼吸器症状がない者も多く**、診断が遅れ、重症化することがある。

○高齢者施設での結核発生は、**周囲への感染拡大のリスクも高い**。

→職員が高齢患者の特徴や感染拡大防止に関する正しい知識を持ち、適切に利用者に関わることができるための情報提供及び、健康教育が必要



患者が発生した高齢者施設(A施設)の職員を対象とした健康教育の方法の検討、実施、評価を行う

方法

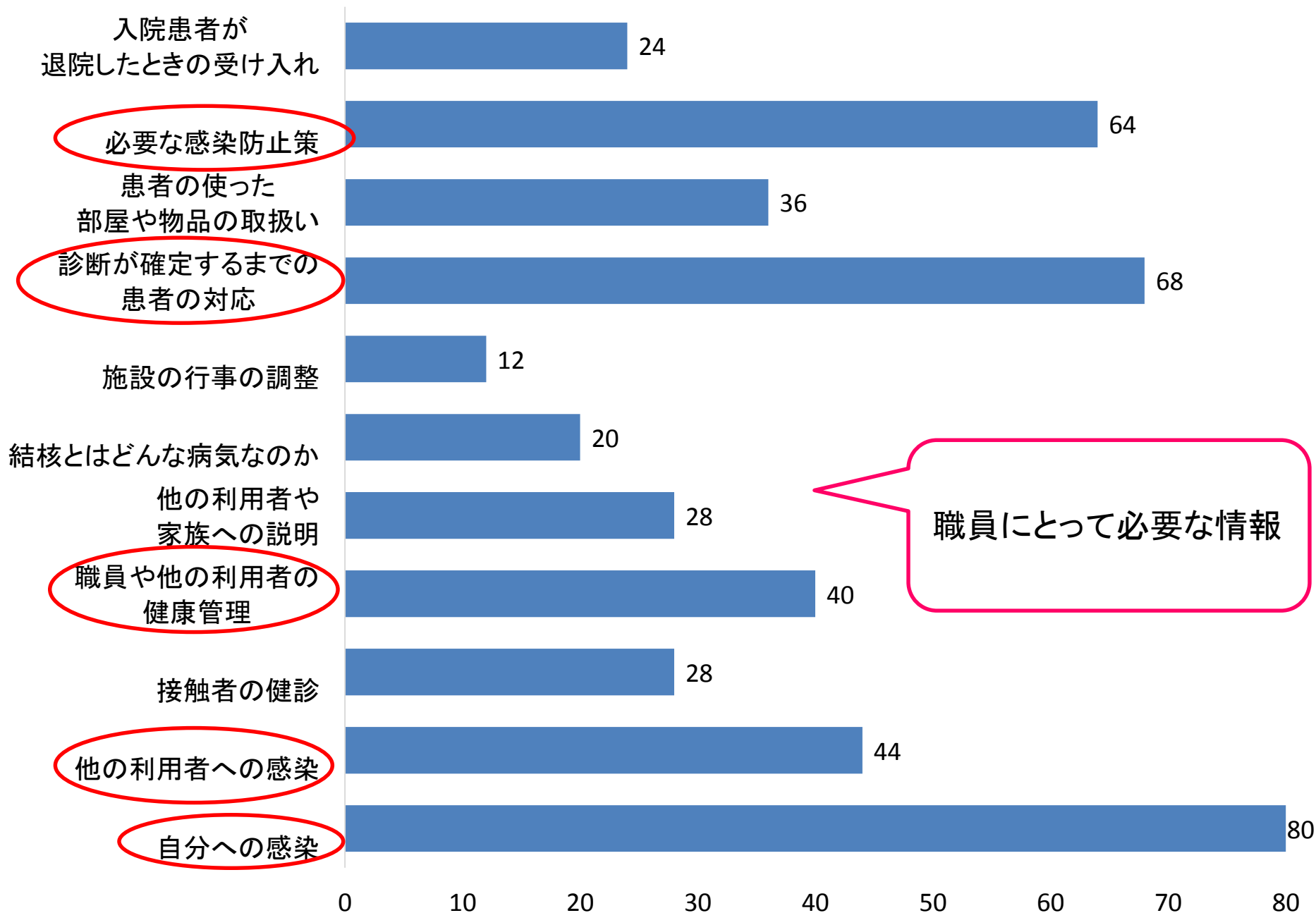
- (1) 健康教育前に、A施設職員に無記名自記式アンケート調査を実施し、結果を分析
- (2) A施設職員を対象に健康教育を実施
受講者にアンケート調査(教育直後及び3か月後)を実施し、
評価

結果(1)

健康教育前アンケート調査

A施設職員25名 回収率100%

【施設内で結核患者が発生した時の不安や分からなかったこと(%)】



【結核クイズ 正答率が50%以下であった設問(%)】

No	設問	正答	正答率
2	最近の結核患者の6割以上は高齢者(65歳以上)である。	○	40
3	結核患者が使用した衣服や食器、寝具は処分や消毒する必要はない	○	24
4	結核が疑われる人の介護は、結核がうつらないようにガウンや手袋を着用する必要がある	×	44
12	結核を発病すると、必ず入院する必要がある	×	36

認知していない職員が多い

結果(2)

健康教育前アンケート調査を踏まえ、
健康教育を実施

【健康教育内容】

・結核の基礎知識

(感染のしくみ、感染・発病の違い)

・高齢結核患者の特徴

・結核患者、疑い患者がいるときの 感染拡大防止の対策や対応方法

・接触者健診について(QFT検査や胸部X線検査)

・早期発見のポイント、平常時の結核対策(健康管理)

やさしい言葉を使い、特に丁寧に説明。

- ・患者事例を振り返り、
施設に合わせた対応策を伝える。
- ・N95マスクの着用演習を実施。

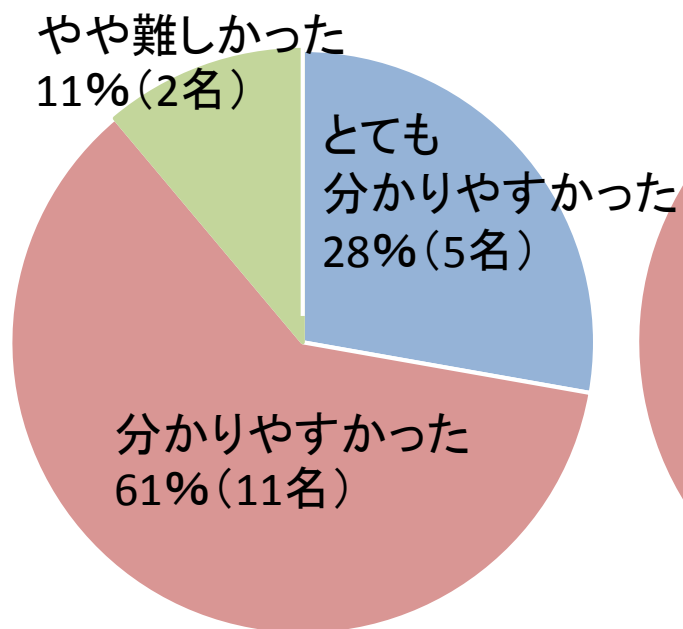
チェックリストを活用しての
健康管理の方法を提案。

結果(3)

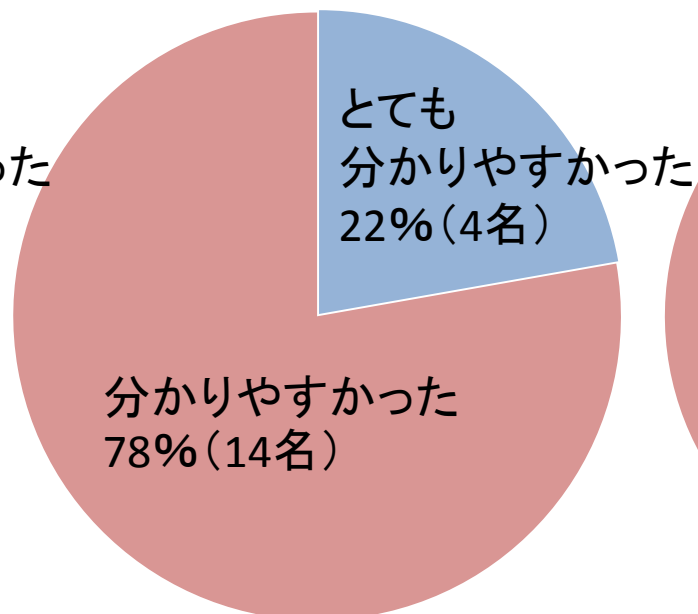
健康教育直後アンケート結果

A施設教育受講者18名 受講率72%

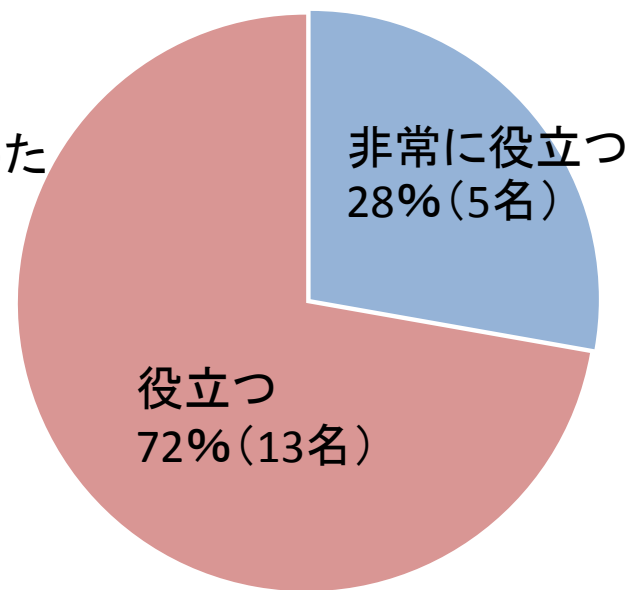
【話の内容】



【資料の内容】



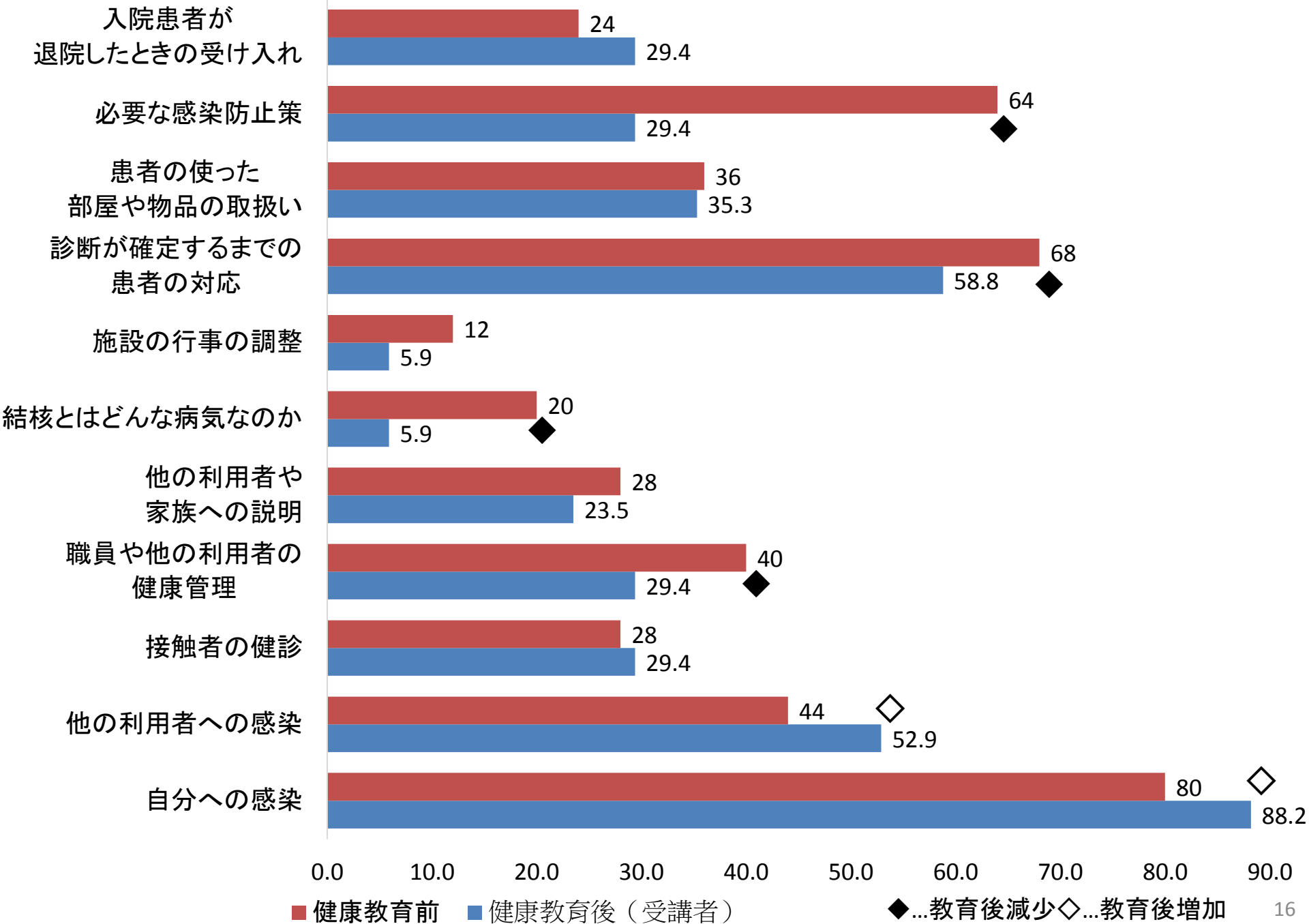
【今後の結核対策に 役立つか】



結果(4)

教育前と3か月後の比較

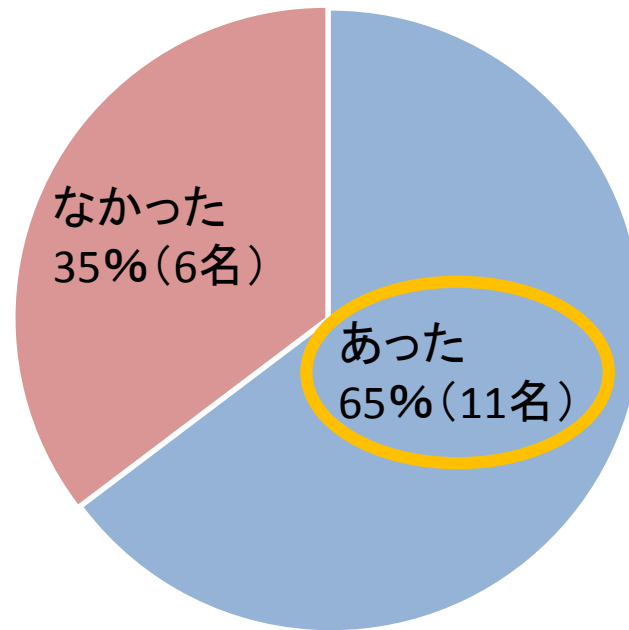
【施設内で結核患者が発生した時の不安や分からないこと(%)】



【結核クイズ 事前アンケートにて正答率が50%以下であった設問(%)】

No	設問	正答	正答率 (教育前)	正答率 (教育後)
2	最近の結核患者の6割以上は高齢者(65歳以上)である。	○	40	47.1 ↑
3	結核患者が使用した衣服や食器、寝具は処分や消毒する必要はない。	○	24	46.7 ↑
4	結核が疑われる人の介護は、結核がうつらないようにガウンや手袋を着用する必要がある。	×	44	31.3
12	結核を発病すると、必ず入院する必要がある。	×	36	56.3 ↑

【健康教育後、結核のイメージや心構え等変化があったか】



【具体的にどのような変化があったか(自由記載)】

- 知識が増えたことで、**不安がなくなった、落ち着いて対応ができそう。**
- 対応方法を理解し、**自信に繋がった。**
- これまでの認識を**正しい知識に変えて、理解することができた。**
- 体調管理等については、**実際に気をつけて対応するようになった。**

考察

- ・具体的な解決策を教育内容に盛り込んだ
→不安軽減など一定の教育効果に繋がった

- ・教育後に、感染防止策の項目で正答率が減少
→過度な感染防止策の認識に傾いたのではないか。

結核クイズの正答や解説を盛り込んだ資料を作成・活用し、**施設内でのさらなる知識の定着につながるよう働きかけ。**

- ・教育後、「知識が増えたことで不安がなくなった」と感じた職員もいた。
→**結核の知識・感染防止策の方法を理解し、不安の軽減に繋がった**

- ・教育後、「他の利用者への感染」「自分への感染」を不安に感じる職員の割合が増加。

→**結核に対する危機感を身近に感じた職員が増加したのではないか。**

実際の職員の考えや認識の変化なども把握できるアンケート項目をさらに検討する。

おわりに

今回の教育内容を基本に、施設の個別性を考慮した健康教育を実施

平常時対策として結核に関する一般的な知識等の教育も引き続き実施